

## レンジフードファン

セット形名

**V-90SF-L (-R)**

■本製品は下記の3個の梱包で納品されます。  
据付けを始める前に梱包に表示されている形名をご確認ください。

品名	形名
送風機	V-90SF-L(-R)-FAN
フード	P-90SF-L(-R)-HD
ダクトカバー	P-90SF-DV

## 据付説明書

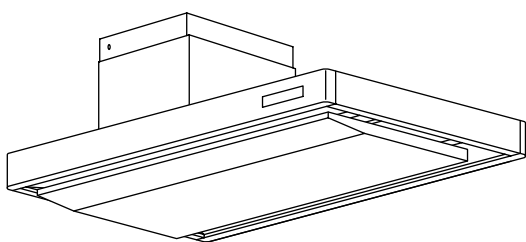
**販売店・工事店様用**

据付けを始める前に、この据付説明書をよくお読みください。

据付けは販売店・工事店様が実施してください。

- 本製品は住宅の台所用です。業務用途では使用できません。
- 本製品の据付けにあたっては、地域により防災上での制限（内装材の制限、可燃物との距離の制限、ジャバラの使用など）がありますので、詳細は行政官庁または、消防署にお問い合わせください。
- 接続ダクトはφ 150の鋼板管・スパイラルダクトのいずれかをご用意ください。







**付属品（リモコン・リモコンホルダー・マグネット・乾電池・木ネジ）と別冊の「取扱説明書」はお客様用です。お客様に必ずお渡しください。**





### もくじ

安全のために必ず守ること	2
据付け前のお願い	3
外形寸法図	4
据付け方法	5~10
1. 据付け前の準備	5
2. ダクト接続口の取付け	5
3. 整流板のはずしかた	5
4. フィルターのはずしかた	6
5. 塞ぎパネルのはずしかた	6
6. 送風機とフードの接続	6
7. 内部配線の接続	7
8. 壁面への据付け	8
9. 排気ダクトの接続	8
10. 電気工事	9
11. ダクトカバーの取付け	9
12. フィルター・整流板の取付け	10
据付け後の確認	11

# 安全のために必ず守ること

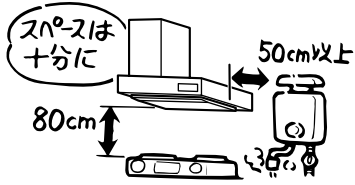
 <b>警告</b>		誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	
 禁止	内釜式風呂を設置した住宅には据付けない 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒の原因。	 指示に従う	交流100Vを使用する 直流や交流200Vを使用すると火災・感電の原因。
 水ぬれ禁止	直接水のかかる場所や湿気の多い場所には据付けない 感電および故障の原因。		製品金属部(金属製ダクト)がメタルラス張り、ワイヤラス張り、ステンレス板などの金属と電氣的に接続しないように据付ける 接続されていると漏電した場合火災の原因。
 分解禁止	改造や必要以上の分解はしない 火災・感電・けがの原因。		自然排気型ストーブがある部屋に据付けるときは、部屋の空気取入れ口を設ける 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒の原因。
 プラグを抜く	ランプを点検する際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切る 通電状態では感電の原因。		包装用ポリ袋などは幼児の手の届かない所に廃棄または保管する 幼児が頭からかぶると、窒息の原因。
 アース確認	アースを確実に取付ける 故障や漏電した場合感電の原因。		

 <b>注意</b>		誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの	
 禁止	浴室など湿気の多い場所では絶対に使わない 感電・故障の原因。	 指示に従う	電気工事・アース工事は電気工事士が行うこと 電気工事士以外の方が工事すると、火災・感電・けがの原因。
 接触禁止	指定以外のランプを使用しない ランプ周辺が高温になり、やけどの原因。		部品の取付けは確実に 落下によりけがの原因。
 指示に従う	運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れない けがの原因。	 プラグを抜く	電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者が安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。
	本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に 落下によりけがの原因。 据付けの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因。		据付け後長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。

# 据付け前のお願い

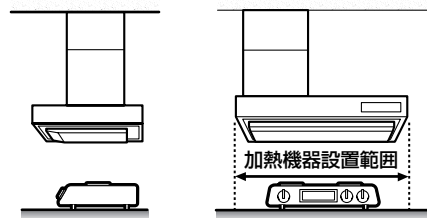
## 下図の寸法を守る

(本体の下端から加熱機器までは 80 cm 以上必要です)



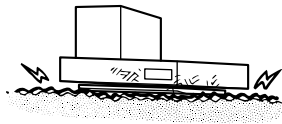
(モータ故障や排気ガスによる塗装面のサビ発生の原因となります)

- レンジフードファンは加熱機器よりも幅の広い物を選択してください。
- 加熱機器から本体下端までの距離は 80 cm にできるだけ近い距離で据付けてください。



(捕集性能が得られないことがあります)




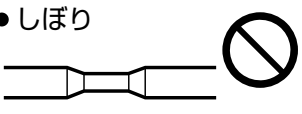
コンクリートなど、傷のつきやすいものの上には直接置かない

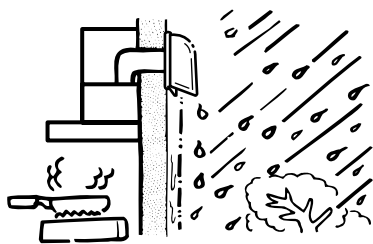


本体は水平に据付ける (前後・左右)  
(羽根当たりや異音の原因になります)

- 電子点灯方式の蛍光灯 (IC インバータ蛍光灯など) の近くや、直接日光などの強い光が当たる場所に設置すると、リモコンや連動信号を受けつけにくくなる場合があります。

## ダクト工事

- 排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて 1/100 以上の下りこう配をつける。先端に屋外フード (システム部材) などを取付けることをおすすめします。また、屋外フードはメンテナンスができる位置に取付けてください。
- 次のようなダクト工事はしない。(風量低下や異常音発生の原因になります)
  - 極端な曲げ 
  - 多数の曲げ 
  - 吐出口のすぐそばでの曲げ 
  - しぼり 
- システム部材の選定には圧損の少ないものを使用してください。(製品性能が得られないことがあります)



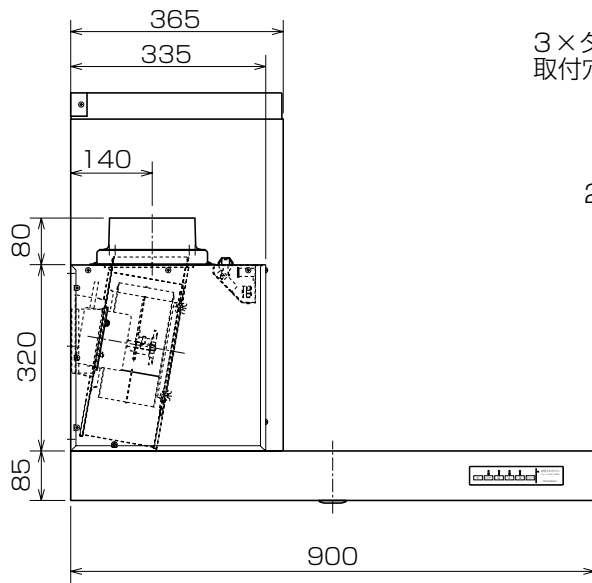
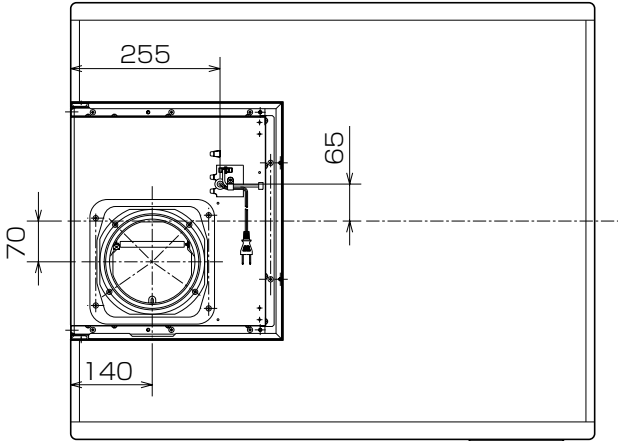
排気ダクトの先端には条件に合ったシステム部材が用意してあります、ご利用ください。

- 鳥などの侵入防止にベントキャップ
- 雨水の浸入防止に深形フード
- 吹き上げが強いところには耐外風高性能フードを取付けてください。
- 屋外フードはメンテナンス (清掃・点検) できる場所に取付けてください。

- 室内には専用の給気口を設けるようにしてください。  
(扉の開閉が困難になったり、製品性能が得られないことがあります)
- 風の影響を受けやすいため、空調機や給気口からの風が調理の油煙に直接あたらないようにしてください。(油煙等の漏れの原因となります)
- 作業は 2 人以上で行ってください。

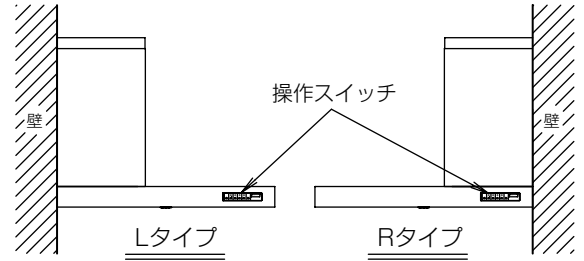
# 外形寸法図

※図はLタイプになります。



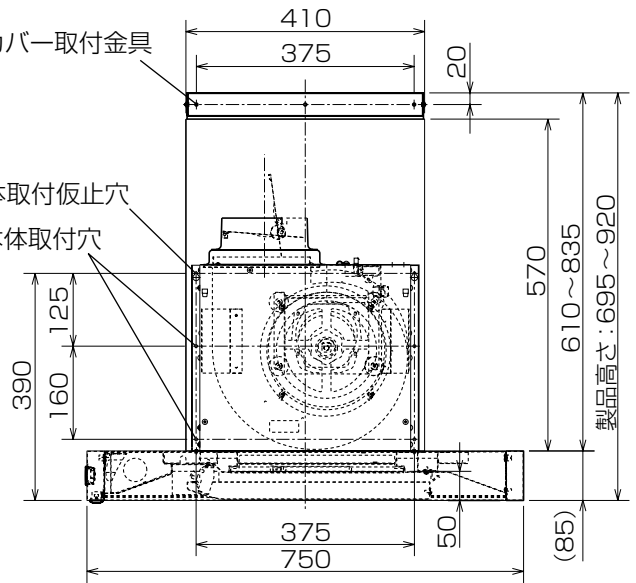
## ■ Lタイプ・Rタイプについて

レンジフードの操作スイッチがある方を正面とし、左側に壁がある場合はLタイプ、右側に壁がある場合はRタイプ、となります。



3×ダクトカバー取付金具  
取付穴

2×本体取付仮止穴  
4×本体取付穴






単位 (mm)



## 付属部品

●下記の付属部品があります。

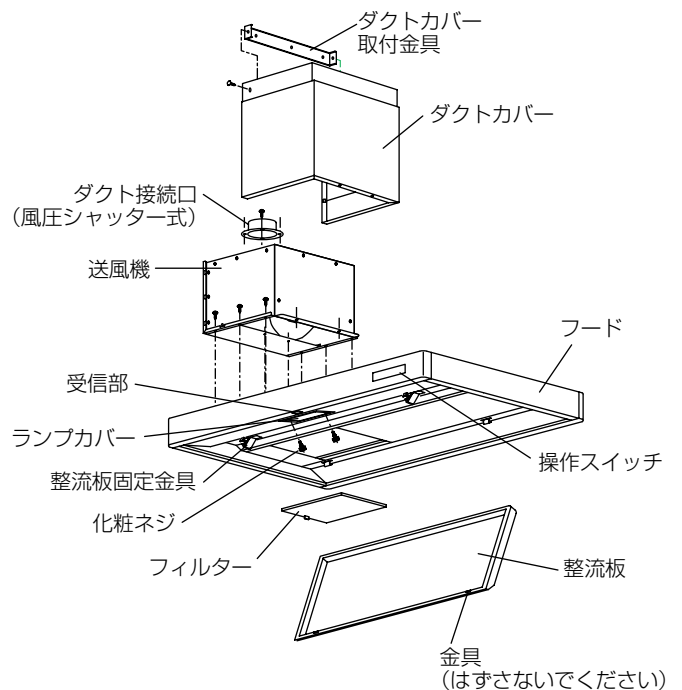
### ■フード付属品

ネジ①……………2本  本体仮固定用	ネジ②……………4本 本体取付ネジ3.8X38  本体壁固定用	ネジ③……………14本 トラスタッピンネジ4X8  本体とフード取付用 ダクト接続口取付用他 目が細かいタイプ	
コードランプ …1個 配線固定用 	ダクト接続口 …1個 	リモコン …1個 	穴ふさぎ用 テープ…1個 
リモコンホルダー …1個 	マグネット…1個 	乾電池……………2個 	木ネジ……………2個 

### ■ダクトカバー付属品

ネジ④……………3本  ダクトカバー取付金具 固定用	ネジ⑤……………4本  ダクトカバー固定用 目が細かいタイプ
--	--

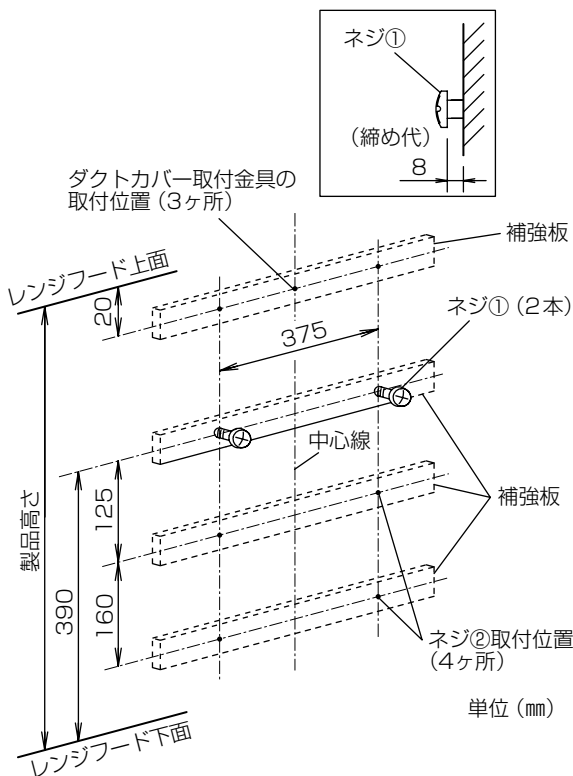
## 各部のなまえ



※図はLタイプになります。

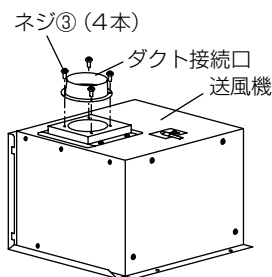
# 据付方法

## 1 据付け前の準備



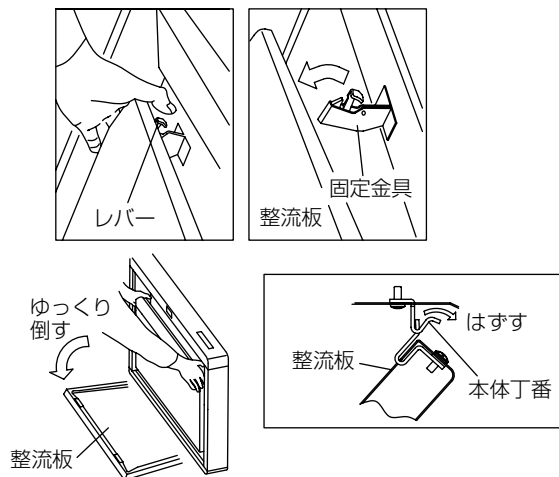
- 1 据付け場所を確認する。
  - 製品を固定する壁は左図の位置に製品を支える強度（製品質量 31kg）のある下地があることを確認してください。
  - 木材の場合は 20 mm以上の厚さが必要です。
- 2 付属のネジ①を左図寸法の位置の高さに約 8 mm 締め代を残して取付ける。
- 3 配管済みのダクトを確認する。
  - 「外形寸法図（4 ページ）」と「⑨排気ダクトの接続」を参照し、正しくダクト配管工事ができていることを確認してください。
- 4 フードとダクトカバーに貼ってある保護シートをはがす。

## 2 ダクト接続口の取付け



- 1 ダクト接続口を付属のネジ③（4本）で本体に取付ける。
  - ネジは必ず 4 本取付けてください。

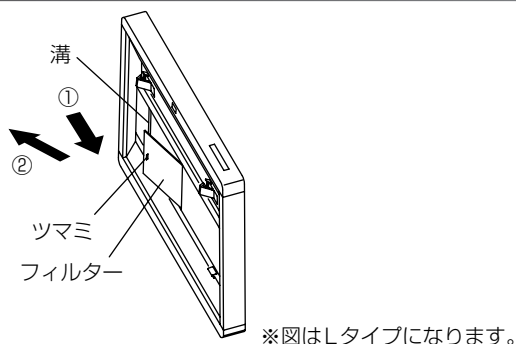
## 3 整流板のはずしかた



- 1 両手で整流板をしっかり支える。
- 2 固定金具のレバーに指をかけ、レバーを手前へ引いて整流板を固定金具からはずす。
- 3 整流板を両手で支えたまま、手前にゆっくり倒す。
- 4 整流板を開き、本体丁番から整流板をはずす。

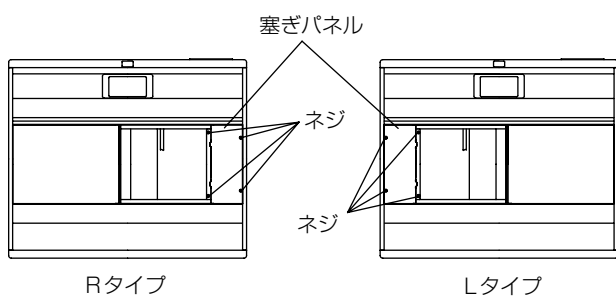
# 据付方法 つづき

## 4 フィルターのはずしかた



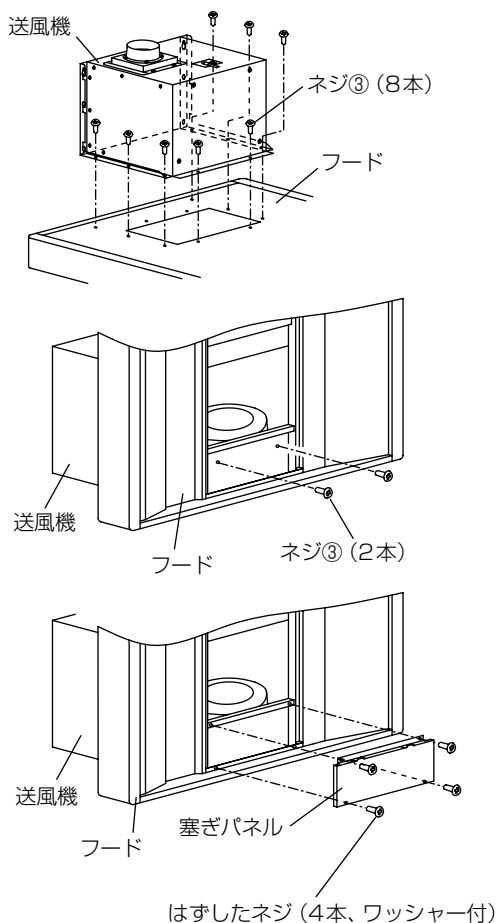
- 1 フィルターのツマミをしっかり持つ。
- 2 フィルターを①の方向へ押し、溝からはずし、②の方向へフィルターを取りはずす。

## 5 塞ぎパネルのはずしかた



- 1 左図の位置のネジ4本をはずし、塞ぎパネルをはずす。
  - はずした塞ぎパネル、ネジは後で使用します。
  - ネジはワッシャー付です。ワッシャーは、はずさないでください。

## 6 送風機とフードの接続

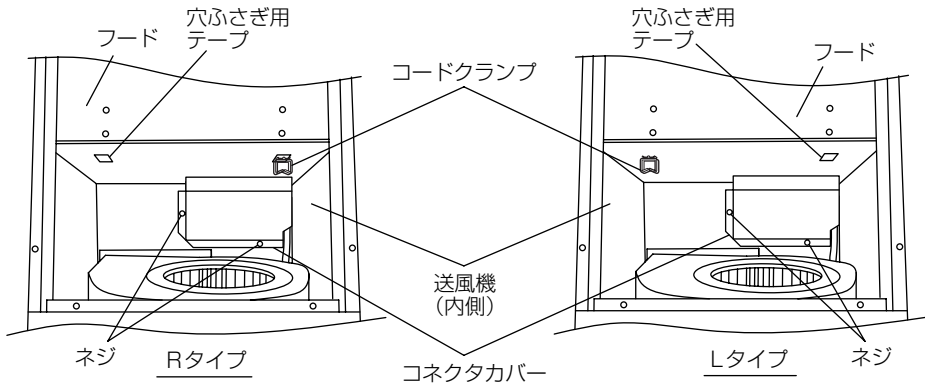


- 1 付属のネジ③ (8本) でフードと送風機を固定する。
- 2 付属のネジ③ (2本) でフードを内側から固定する。
  - 送風機とフードが確実に固定されていることを確認してください。
- 3 ⑤ではずしたネジ (4本) で塞ぎパネルを取付ける。
  - ネジはワッシャー付です。ワッシャーは、はずさないでください。

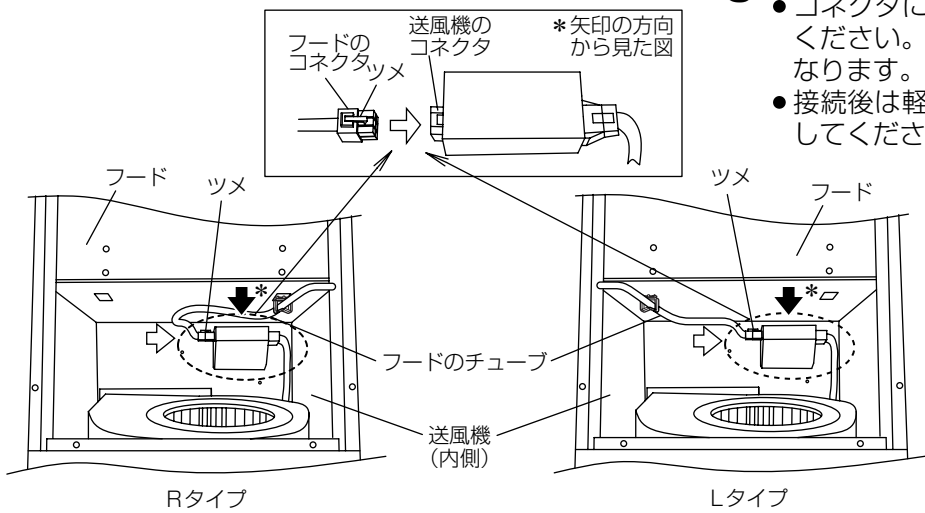
※図はLタイプになります。

## 7 内部配線の接続

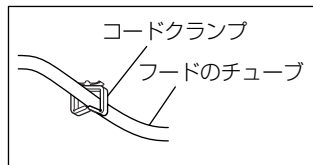
- 1 コードクランプと穴ふさぎ用テープを取付ける。
  - LタイプとRタイプでコードクランプの取付位置が異なります。
- 2 ネジ2本をはずしてコネクタカバーを取りはずす。



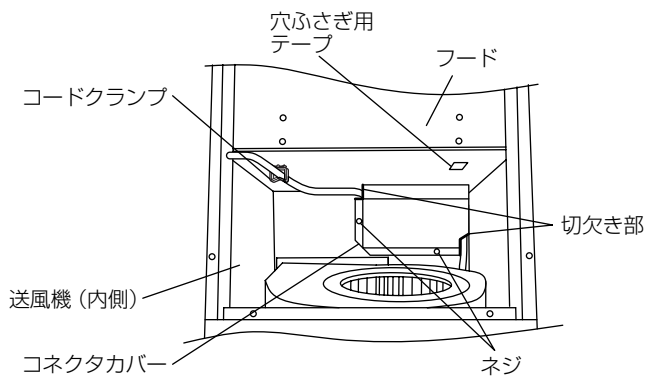
- 3 フードのコネクタを送風機のコネクタに接続する。
  - コネクタには向きがあります。取付ける際に注意してください。無理に押し込むとコネクタの損傷の原因となります。
  - 接続後は軽く引っ張り、確実に接続されたことを確認してください。



- 4 フードのチューブ (リード線) をコードクランプに通す。



- 5 コネクタカバーを手順2で取りはずしたネジで取付ける。
  - リード線はコネクタカバーの切欠き部を通して、コネクタカバーを取付けてください。



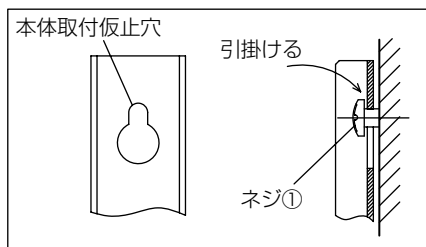
※図はLタイプになります。



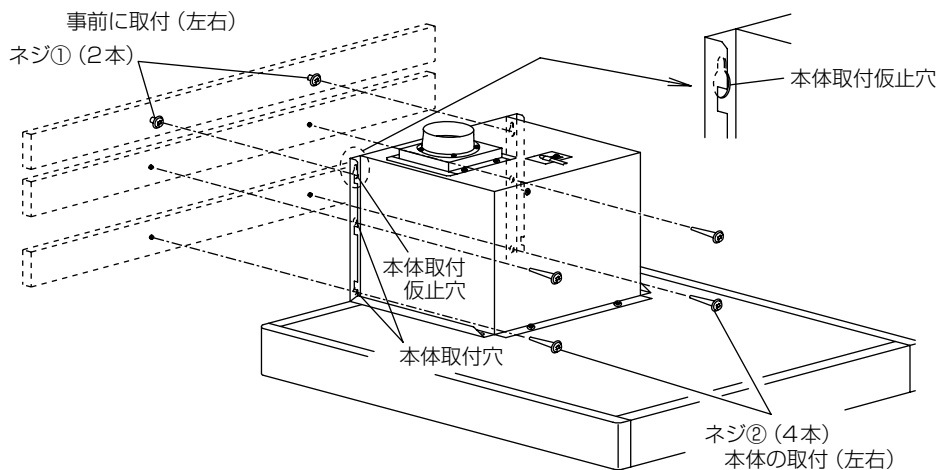
# 据付方法 つづき

## 8 壁面への据付け

本体取付仮止穴を引掛ける



- 1 ①据付け前の準備で取付けたネジ①（2本）へ製品の本体取付仮止穴を引掛ける。
- 2 付属のネジ②（4本）で本体取付穴（4箇所）を固定する。
- 3 ネジ①（2本）を締め付ける。



## 9 排気ダクトの接続

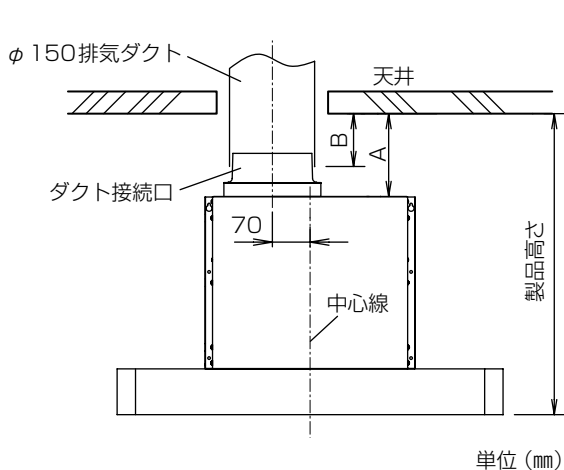
- 1  $\phi$  150 排気ダクトを下図の位置へ配管する。  
● 排気ダクトは天井面よりB寸法を出してください。

(例)

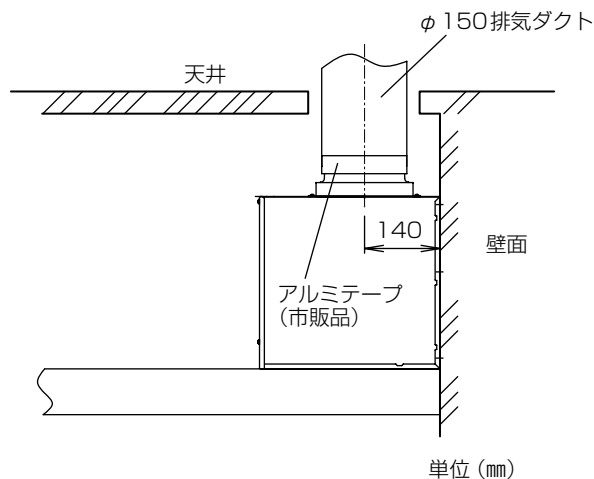
製品高さ	A	B
H700	295	240
H800	395	340
H900	495	440

単位 (mm)

- 2 ダクト接続部を市販のアルミテープなどでテーピングする。  
● 風漏れがないよう確実に行ってください。



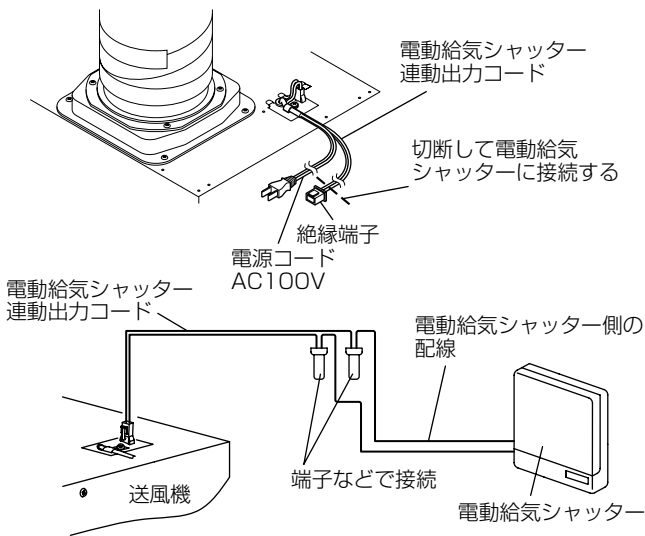
単位 (mm)



単位 (mm)

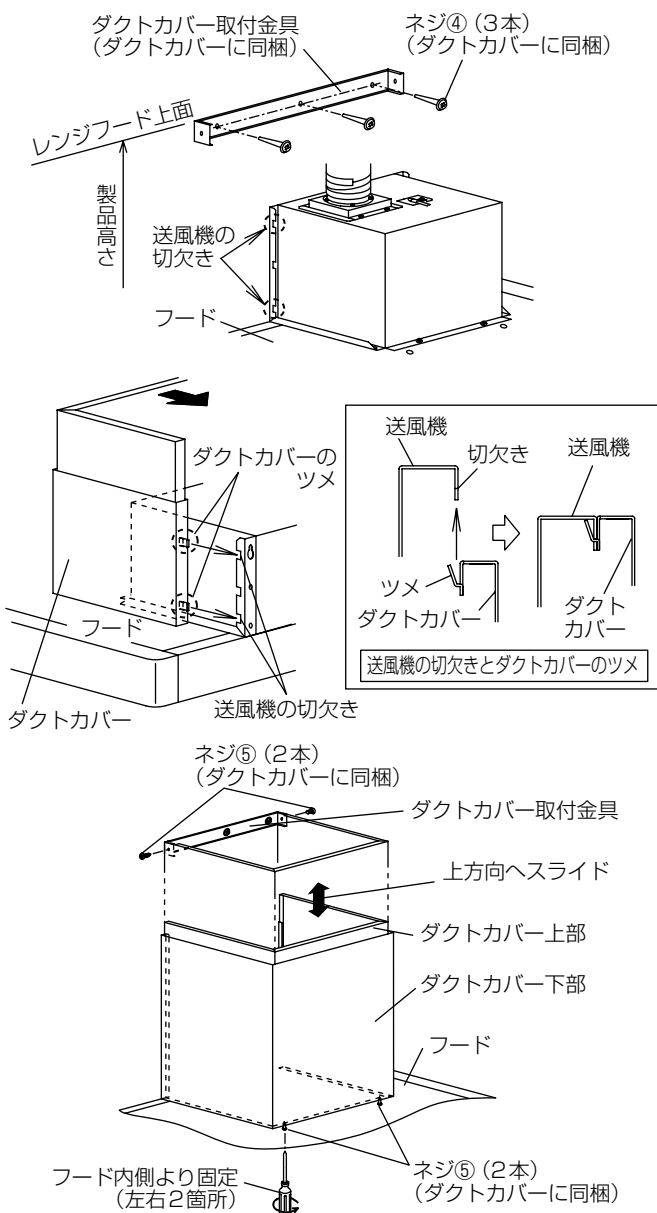


## 10 電気工事



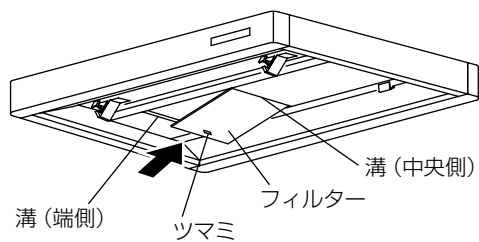
- 1 アースはD種接地工事を実施してください。
- 2 電動給気シャッターを使用する場合は、電動給気シャッター連動出力コード先端の絶縁端子を切断して電動給気シャッター側の配線と接続する。
- 3 電源プラグと同形のコンセント (AC100V) を設けて電源プラグを差し込む。

## 11 ダクトカバーの取付け



- 1 壁にダクトカバー付属のネジ④ (3本) でダクトカバー取付金具を固定する。
  - ダクトカバー取付金具の位置は「外形寸法図 (4ページ)」を参照してください。
- 2 送風機の切欠きにダクトカバーのツメを合わせ、フードにダクトカバーを取付ける。
  - ダクトカバーでフード上面を傷つけないよう注意してください。
- 3 ダクトカバー下部をフードの内側から付属のネジ⑤ 2本で固定する。
- 4 ダクトカバー上部を上方向へスライドさせて、ダクトカバー取付金具に付属のネジ⑤ 2本で固定する。
  - ダクトカバーが正しく確実に取付けられたか確認してください。ダクトカバーが正しく取付けられていない場合、振動による騒音や落下によるけがの原因になります。

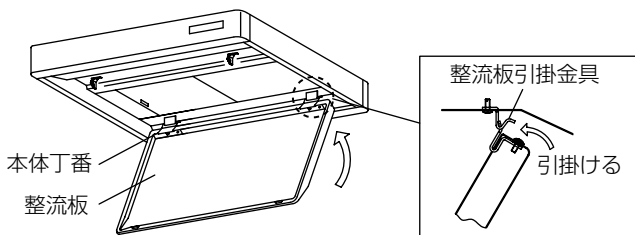
## 12 フィルター・整流板の取付け



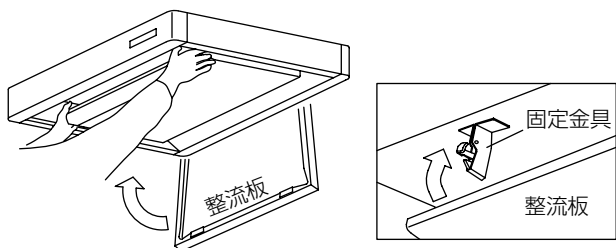
※図はLタイプになります。

1 中央側の溝にフィルターを合わせ、矢印の方向に押し込みながら端側の溝にはめてフィルターを取付ける。

- フィルターのツマミが端側の溝にくるように取付けてください。



2 フードの本体丁番に整流板を引掛ける。



3 整流板を両手で支えてゆっくり起こし、フードの固定金具で整流板を固定する。

- 片手で整流板の中央を持ち、軽く下に引いてはずれないことを確認してください。

# 据付け後の確認

■据付けが終わりましたら、次の確認をしてください。

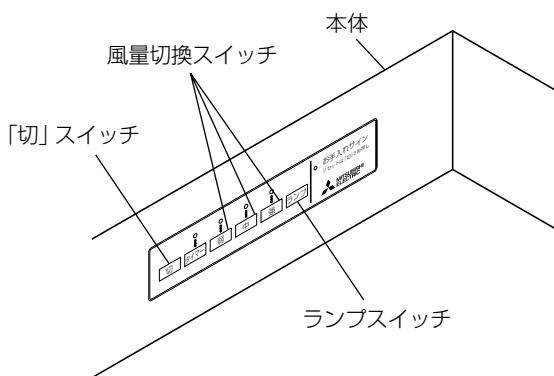


## 警告

ランプを点検する際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤ブレーカーを切る。  
感電の原因。

1. 本体はしっかりと固定されていますか？ランプはゆるんでいませんか？
2. 送風機内のコネクタがしっかりと差し込まれていますか？
3. D種接地工事は実施されていますか？

■据付け終了後、操作スイッチで試運転を行い、動作確認をしてください。



- 1 電源プラグはしっかり差し込まれていますか？
- 2 ランプスイッチを押すとランプが点灯しますか？
- 3 風量切換スイッチを押して風量が切換わりますか？
- 4 それぞれの風量で運転した場合、振動や異常音がありませんか？

本体からの異常音や焦げ臭いなど不具合のある場合は、据付けと接続を再確認し、正しく動作するよう処置してください。

(お客様が不具合のまま運転すると、機能が発揮されないばかりか、お客様の安全が確保できません)

■試運転の後は本体の保護のため、保護材で本体を覆ってください。

その他内装工事が残っている場合に、保護材を用いることで、天井や壁などの内装工事用の接着剤や塗料が付着して本体が汚損するのを防ぎます。

# 三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、  
再生紙を使用  
しています。